

中小企業のコラボレーションを 応援します！

中小企業者の皆さまがさらなる成長を目指す際の手段の一つとして、『企業連携』があります。

自社の経営資源だけでは限界があっても、複数の企業が連携し協力することで、1社単独では得られない大きな成果につながる可能性があります。

※『企業連携』…… 複数の企業が相互利益のために構築する、多種多様な協力形態。

オール秋田で、新たなステージへ

- 強みを持ち寄り新たな付加価値を創造することにより、お客様への提案力を向上
- 横のつながりの強化により、多様な取引関係を創出、情報収集力・発信力を強化
- 技術・人材・ノウハウ等の補完により、新規投資の負担を軽減して新たな取組を展開

連 携

新たな取引先を
開拓したい

新分野に
進出したい

新製品を
開発したい



連携のかたち

連携には様々なかたちがあります。取組の一例をご紹介します。

顧客ニーズに応えるため、異業種分野への参入を決意。新製品の開発に取り組むも、その分野の知識がゼロだったため、ノウハウを有している企業と技術面で連携し、さらに公設試験研究機関や大学からの支援を受け、開発に成功した。

技術連携により異業種分野参入

共同
研究開発

自社で構想した企画を実現するため、必要な加工技術を有する異業種企業数社と連携。特殊な技術を集結させることで、高品質な製品の生産に成功した。この取組により参加企業同士の信頼関係が深まり、さらなる製品開発や新たな協力企業の発掘につながった。

強みを持ち寄り新製品が誕生

共同
生産

新商品開発にあたってマーケティングに不安があったが、多方面に販路を持ち消費者ニーズ等の情報力を有している企業と連携。開発段階から共同で取り組むことで、消費者ニーズを反映させた商品を開発することができた。

情報力を補完し新商品を開発

共同
研究開発

近隣の製造業者がそれぞれの得意分野を持ち寄って連携。1社単独では設計から製造まで自己完結できないが、連携企業の人材や設備の共有によって対応技術の幅が広がったことで、受注できる幅も広がり、顧客獲得につながっている。

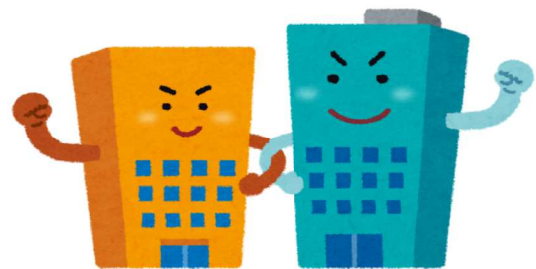
対応技術の幅が広がり顧客獲得

共同
受注

市場競争力を強化するため、県内の同業者と連携し、原材料の共同仕入れによるコスト削減に成功。今後は、共同受注による大口案件への対応や商品のブランディングについて連携を検討し、売り込み体制の強化を図っていく。

共同仕入れにより原材料コスト減

共同
購買



◎県内の各支援機関では、企業連携の取組を支援するため、出会いの場の提供やマッチング支援、連携事業実施への資金面、技術面での支援を行っています。

- ◆ 秋田県商工会議所連合会 TEL 018-866-6677
- ◆ 秋田県商工会連合会 TEL 018-863-8495
- ◆ 秋田県中小企業団体中央会 TEL 018-863-8701
- ◆ 秋田県地域産業振興課 TEL 018-860-2241

- ◆ 秋田県信用保証協会 TEL 018-863-9015
- ◆ (公財) あきた企業活性化センター TEL 018-860-5610
- ◆ 秋田県産業技術センター TEL 018-862-3414